

答申物件

《史跡名勝天然記念物の追加指定》

【特別史跡】 2件

1 とおとうみこくぶんじあと いわたし **遠江国分寺跡【静岡県磐田市】**

天平13年(741)、国分寺造立のこくぶんじぞうりゅう みことのり詔に基づいて建立された国分寺跡の一つ。これまで南大門や中門、こんどう金堂、講堂、塔などの遺構が見つかっている。金堂などは木装基壇もくそうきだんであることが分かっている。東面回廊東側の条件の整った部分を追加指定する。



提供:磐田市

2 さいのおはいじあと とうはくぐんことうらちよう **斎尾廃寺跡【鳥取県東伯郡琴浦町】**

山陰地方で白鳳時代の法隆寺式伽藍配置を持つ唯一の寺院跡。大山山麓の台地上に位置する。中門や金堂、塔、講堂などの基壇が残り、特に塔の基壇は高さ1.1mを誇る。条件の整った部分を追加指定する。



提供:琴浦町

【史跡】 12件

1 はちおうじじょうあと **八王子城跡【東京都八王子市】**

ほうじょううじやす うじてる北条氏康の三男氏照が天正10年(1582)頃から築きはじめた山城跡。天正18年(1590)豊臣秀吉の小田原攻めの一環で落城。山頂に至る要害部と、その麓の居館地区、家臣団のあったと想定される根小屋地区ねごやなどからなる。条件の整った、根小屋地区の一角を追加指定する。



提供:八王子市

2 ^{いしがきやま} **石垣山** ^{おだわらし} **【神奈川県小田原市】**

天正18年（1590）の小田原攻めの際に、豊臣秀吉によって築かれた陣城跡。築城当時の野面積みの石垣が比較的良好に残る。本城曲輪、馬屋曲輪などからなる。南曲輪、西曲輪及び本城曲輪の一部など条件の整った部分を追加指定する。



提供:小田原市

3 ^{ひるいおおつかこふん} **昼飯大塚古墳** ^{おおがきし} **【岐阜県大垣市】**

岐阜県の西南部に所在する4世紀後半から末に築造された前方後円墳。墳長150mを測る東海地方最大級の前方後円墳であり、古墳時代の政治と社会を知る上で重要。今回、後円部の一部と周濠の一部で条件の整った区域を追加指定する。



提供:大垣市

4 ^{ほんしょうじけいだい} **本證寺境内** ^{あんじょうし} **【愛知県安城市】**

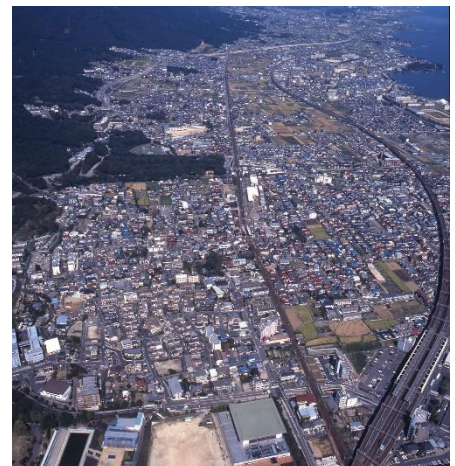
徳川家康と対立した三河一向一揆の中心寺院の一つであった本證寺の境内地。浄土真宗寺院の伽藍の在り方をはじめ、わが国の仏教信仰の在り方を知る上で重要。遺構が確認された北西側の外堀の一角を追加指定する。



提供:安城市

5 ^{おうみおおつのみやしこおりいせき} **近江大津宮 錦織遺跡** ^{おおつし} **【滋賀県大津市】**

天智6年（667）、天智天皇が飛鳥から遷し、琵琶湖西岸に営んだ古代の宮跡。天武天皇元年（672）の壬申の乱で廃絶した。これまで発掘調査によって、内裏正殿や南門、回廊、塀等の宮跡中枢部分が見つかる。今回、内裏正殿北側にある廂付建物周辺の条件の整った範囲を追加指定する。



提供:大津市

6 ^{ふじわらきょうあと} ^{かしはらし}
藤原京跡【奈良県橿原市】

^{すざくおおじあと}
朱雀大路跡

^{さきょうしちじょういち} ^{にぼうあと}
左京七条一・二坊跡

^{うきょうしちじょういちぼうあと}
右京七条一坊跡

^{じとう} 持統天皇8年（694）から^{わどう}和銅3年（710）まで営まれた古代の^{とじょうあと}都城跡。中心にある^{ふじわらきゅうせき}藤原宮跡は特別史跡となっている。朱雀大路跡は宮の正門である朱雀門から南へ延びる道路跡で、それを境に西側を右京、東側を左京に区分する。今回、左京七条一坊の条件の整った部分を追加指定する。



提供: 橿原市

7 ^{あすかきゅうせき} ^{たかいちぐんあすかむら}
飛鳥宮跡【奈良県高市郡明日香村】

7世紀代に歴代の天皇の宮殿が造営された宮跡。発掘調査の結果、^{あすかおかもとのみや} ^{じよめい}飛鳥岡本宮（舒明天皇）、^{あすかいたぶきのみや} ^{こうぎよく} ^{のちのあすかおかもとのみや} ^{さい}飛鳥板蓋宮（皇極天皇）、^{あすかおかもとのみや} ^{さい}後飛鳥岡本宮（^{あすかおかもとのみや} ^{さい}齊^{めい}明天皇・^{てんじ}天智天皇）、^{あすかきよみはらのみや} ^{てんむ}飛鳥浄御原宮（^{あすかきよみはらのみや} ^{てんむ}天武天皇・^{じとう}持統天皇）の各期の遺構が確認された。今回、条件の整った部分を追加指定する。



提供: 奈良県

8 ^{だいかんだいじあと} ^{たかいちぐんあすかむら}
大官大寺跡【奈良県高市郡明日香村】

天武天皇が建立した巨大な寺跡。藤原京 ^{ふじわらきょうじょうぼう} 条坊の南東に位置する。天武2年（673）に建立した^{たけちおおでら}高市大寺を天武6年（677）に大官大寺に改称。^{だいあんじ}大安寺の前身寺院。金堂や講堂、塔、回廊の跡などが残る。講堂跡の条件の整った部分を追加指定する。



撮影: 上田安彦氏

9 ^{わかやまじょう} **和歌山城**【和歌山県和歌山市】

紀の川河口部に位置する、紀伊徳川家の居城となった平山城の近世城郭。^{とらふすやま}虎伏山に天守を設け、その東に本丸があり、これらの周囲に二の丸、西の丸、^{すな まる}砂の丸、南の丸を配置し、高石垣と内堀で画する。^{すな まる}砂の丸の南に位置する^{おうぎ しば}扇の芝の一角を追加指定する。



提供:和歌山市

10 ^{からつまつらふんぼぐん} **唐津松浦墳墓群**【佐賀県唐津市】

^{はやまじりしせきぼぐん} **葉山尻支石墓群**

^{おおともいせき} **大友遺跡**

^{もりたしせきぼぐん} **森田支石墓群**

^{さくらのばばいせき} **桜馬場遺跡**

唐津平野に展開する弥生時代の支石墓群や甕棺墓群からなる墳墓群。^{かめかん}桜馬場遺跡は弥生時代中期から後期の甕棺墓群で、^{ごかんきょう}後漢鏡や^{ともえがたどうき}巴形銅器、ガラス玉類等の副葬品を有する。唐津平野は『魏志倭人伝』に記された「^{まつりこく}末盧国」に比定されており、^{おうぼ}桜馬場遺跡はその王墓と目される。今回、桜馬場遺跡の条件が整った部分を追加指定する。



提供:唐津市

11 ^{あねがわじょうあと} **姉川城跡**【佐賀県神埼市】

水路（クリーク）を網の目状に巡らせた、中世に起源をもつ環濠集落のなかでも周辺で最大規模であり、^{ざいちりょうしゅ}在地領主姉川氏の居城となった中世城館。このような城館跡は全国的にも類例がなく、保存状態も良好である。今回、条件の整った部分を追加指定する。



提供:神埼市

12 さとかんがいせき **里官衙遺跡** おおいたし **【大分県大分市】**

大分市東部に位置する飛鳥時代から奈良時代にかけての官衙遺跡。古墳時代の豪族居宅ごうぞくきょたくから海部評あまべのごおりの役所と考えられるコの字状に配置される大型掘立柱建物群へと変遷することが判明しており、地方官衙の成立を考える上で重要。今回、条件の整った部分を追加指定する。



提供:大分市

【名勝】 1件

1 きゅうまつなみじょうていえん **旧松波城庭園** ほうすぐんのとちょう **【石川県鳳珠郡能登町】**

おくのと 奥能登地方に所在し、玉石敷きによる枯流かれながれの特徴的な意匠を有する中世の庭園で、保存整備のための発掘調査等の成果を踏まえ、今回、一体を成す斜面地等を追加指定する。
(写真は既指定地)



提供:能登町

【天然記念物】 1件

1 みどろがいけせいぶつぐんしゅう **深泥池生物群集** **【京都府京都市】**

西日本の暖帯域の平地では希少な発達した浮島うきしまがあり、北方系植物や食虫植物が数多く生育する池沼ちしょうであり、その特性を反映して高層湿原こうそうしつげんや寒冷泥炭池沼かんれいでいたんちしょうに特有な動物相が生息する種多様性の高い生物群集である。水源地であり、水生生物が利用する森林を追加指定する。



提供:京都市

《重要文化的景観の追加選定》

1 佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観【新潟県佐渡市】

明治初期まで砂金採掘が行われ、閉山後にその跡地や技術を用いて農業へ転換したことを伝える。西三川川の上流域に広がる導水路どうすいろ跡あととその周辺を範囲に追加することで、砂金採掘の最盛期の規模と技術を伝え、保護の充実を図る。



提供:佐渡市